NIE実践報告

1．タイトル：☆スクラップブックを通しての学級経営

2．学校名

大阪府大阪市立湯里小学校

3．実践者名（代表者名）

前田賀世

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

学級活動・その他　25人

6．単元（本時の学習課題）名

スクラップブック活動

7．目標(狙い)

スクラップされた記事を読み、その記事に書かれていることを要約し、いくつかの設問に答える。日直になった相手と協力してスクラップ活動に取り組む。

8．評価の視点

記事の内容がつかめているか。5W1Hに気をつけて読めているか。要約が簡潔かつ的確にかかれているか。日直の相手と協力して活動し出来ているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

10月1日より毎日実施した。日直の仕事として取り組ませた。約2週間に1度スクラップブックがまわってくる。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

スクラップ記事は、担任が毎日選び、要約の欄と簡単な読み取りの設問(3問)を作って取り組ませた。朝に日直にスクラップブックを渡し、終わりの会までに仕上げて提出させるようにした。その後、担任は要約の内容や設問の解答をチェックし、その記事に対して一言感想を書いた。

(留意点)
・漢字が苦手な児童もスムーズに読めるようにふりがな付きの記事(小学生新聞)を使用した。
・読み取りが苦手な児童には、絵や写真が入っている記事を選ぶようにした。
・1人ではなく、複数人(今回は日直)で取り組ませた。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

どの児童もスムーズに記事を読むことが出来た。今回の実践で多くの興味を引いたのが、大学生の大麻所持問題の記事を取り上げた時だった。自分が日直でないときも、今日はどんな記事が選ばれているか気にしてスクラップブックを見る児童も出てきた。

12．成果と課題

このスクラップブックの取り組みを通して、児童たちは定期的に新聞の記事に触れることができた。また、一人ではなく、日直という複数の人数で記事を読んだり問題を解いたりすることによって、協力する姿勢が多く見られた。そして、スクラップブック以外の新聞の記事を読む児童の姿も見られるようになってきた。
課題としては、「小学生新聞」の記事のみのスクラップブックで終わらせてしまったことが挙げられる。一般紙の新聞記事を読ませる活動を取り入れていきたかった。また、個人のスクラップブックを作成する活動も今後は取り入れていきたい。